

競争入札経過調書（総合評価落札方式(加算方式)）

件 名 福岡空港滑走路増設事業環境保全措置実施状況等調査業務

開 札 年 月 日 令和8年7月6日 （落札決定日 令和8年7月31日 ）

入 札 執 行 官 署 大阪航空局

落 札 金 額 ￥ 14,300,000 -

落 札 者 パシフィックコンサルタンツ株式会社

予 定 価 格 ￥ 18,678,000 -

積 算 額 ￥ 18,678,000 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥ 16,980,000 -

調 査 基 準 価 格 ￥ 15,038,604 - 調 査 基 準 価 格 の 100/110 ￥ 13,671,459 -

得点配分（各満点） 評価点 60 点 ： 価格点 60 点

低入札価格調査実施済 第1回目落札

入札参加者	評 価 点	第 1 回入札			第 2 回入札			摘 要
		入札金額	価格点	評価値	入札金額	評 価 値	評 価 値 ≥ 基準評価値	
パシフィックコンサルタンツ株式会社	32.44	13,000,000	14.06	46.50				落札

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。

※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）。

※ 評価値は、評価点と各回入札の価格点を加えて算出する（小数点以下第3位まで表示）。

※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。

※本件は、予算決算及び会計令86条第1項の規定に基づく調査を実施し、令和8年7月31日に落札者を決定した。

総合評価落札方式評価点内訳（簡易型1:1）

件名：福岡空港滑走路増設事業環境保全措置実施状況等調査業務

入札参加者	評価点						履行確実性	技術評価得点 合計	技術評価点
	入札参加者の経験及び能力	配置予定技術者の経験及び能力	実施方針	賃上げ実施の表明	WLB等を推進する企業	加算点の合計	履行確実度		
パシフィックコンサルタンツ（株）	16%	12%	32%	4%	0.5%	64.5%	0.75	56.50%	32.44点
算定式を記載 パシフィックコンサルタンツ（株）： 配分点60点×技術評価の得点合計/技術評価の配点合計＝60点×56.50%/104.5%＝32.44点									

低入札価格調査の実施概要（測量及び建設コンサルタント等）

件 名：福岡空港滑走路増設事業環境保全措置実施状況等調査業務

発 注 機 関 名：大阪航空局

調査対象業者名：パシフィックコンサルタンツ株式会社

項 目	内 容
(1) その価格により入札した理由	調査対象者は、福岡空港滑走路増設事業における環境影響評価に関する業務の実績を有し、また中部国際空港や北九州空港における同種業務についても直近３年間で実施するなど、十分な業務経験を有しており、実績ある技術者を配置することで、効率的に業務遂行することが可能であり、また業務成果の品質向上が図れるとしている。 入札額については、当該業務の特記仕様書に示す実施項目・内容に沿って、業務の実施に必要な「直接人件費」、「直接経費」、「その他原価」は必要金額を確保、「一般管理費等」について法定福利費、福利厚生費、租税公課等は必要額を確保したうえで、その他の役員報酬、交際費、広告宣伝費等について自社担当部門全体の受注状況から運営に影響がない範囲として、通常の５０％まで削減するなど、入札価格低減を図ったものとしている。 また、当該業務における航空機騒音調査や騒音低減対策の検討には、福岡空港滑走路増設事業における環境影響評価に関する業務の経験を活かした効率的な業務遂行可能性に自信を有するなど、受注に対する強い意欲を有していることもあり、当該価格により入札したとしている。
(2) 配置予定の技術者その他当該契約の履行体制	管理技術者１名、担当技術者４名、照査技術者１名の計６名が配置予定であり、また、各担当技術者は適正に業務分担され、適切に配置されており履行体制に問題はないと史料される。

(3) 手持ちの建設コンサルタント業務等の状況	管理技術者 1 名、照査技術者 1 名、担当技術者 4 名の手持業務（契約金額500万円以上の業務で照査技術者の従事を除く）を確認したところ、低入札価格調査資料の提出時点で管理技術者 8 件、照査技術者 12 件、担当技術者は 7 件、6 件、6 件、4 件として報告があり、測量調査設計業務実績情報システム（TECRIS）及び契約関係書類において、その全ての案件が実在することを確認した。 通常時の手持業務の数について調査対象者にヒアリングした結果、業務内容により異なるが、1 人当たり 10 件程度を目安としている旨の回答があり、現時点で管理技術者及び 4 名の担当技術者の業務量に余裕があることを確認した。 また、最も手持業務の多い照査技術者で手持ち業務を 12 件有していることについてヒアリングした結果、管理技術者として従事している 5 件のうち 4 件については環境影響評価書にて定められた事後調査として現場計測等行う定型的な業務であること、1 件は簡易的な環境アセスメントの工程管理が主な業務であり業務負担が大きくないこと、また 7 月末で 1 件が履行期間を完了するとの回答があった。また、本業務では照査技術者としての配置であり、業務進捗に応じてスポット的に従事するため拘束期間が比較的短いこと、また九州地方整備局発注の令和 6 年度福岡空港滑走路増設事業環境保全措置実施状況等資料作成業務を含め、福岡空港における環境影響評価に関連する業務実績を有しており、本業務を効率的に実施可能であることから、本業務の実施に支障がないことを確認した。
(4) 手持機械の状況	当該業務は測量業務及び地質調査業務ではないため、調査の対象外。

(5) 国及び地方公共団体等から過去において受注・履行した建設コンサルタント業務等の名称及び発注者		調査対象者より提出された、配置予定の技術者が従事した当該設計業務と同種の空港の環境影響評価に関する業務実績は、過去3か年で3件、過去5か年で6件あり、その全てが実在することを確認した。 なお、確認した6件について低入札案件は確認されず、また適切に履行が完了していることが確認できた。
(6) 経営内容		調査対象業者の経営状況は、直近3カ年分（令和4年10月1日～令和7年9月30日）の決算報告書等から、健全な経営が行われていると判断する。
(7) (1)から(6)までの事情聴取した結果についての調査検討		配置予定の各技術者の手持業務の状況や、過去において受注した同種業務の実績から、技術面において問題は認められなかったことから、契約の内容に適合した履行がされないおそれがあるとは認められなかった。
(8) (5)の建設コンサルタント業務等の成績状況		過去に受注した調査業務は、いずれも問題なく履行されていることを確認した。
(9) 経営状況		問題なし。
(10) 信用状況	法令違反の有無	無
	賃金不払いの状況	無
	下請代金の支払遅延状況等	無
	建設コンサルタント登録等における消除等の履歴	無
(11) その他の必要な事項		無